



積雪の登山口に到着



雪は少ない



正面に地蔵岳がくっきりと



鍬柄山山頂



山頂からの榛名山と冠雪の浅間山



武尊山方面



黒檜山の右に駒ヶ岳、手前は大沼（おの）



「山には、きびしさをもって我々に対するものと、暖かく我々を包容してくれるものと、二種類ある。赤城山はその後者のよい代表である…」深田久弥の日本百名山「赤城山」の書き出しである。小雪ぐらいは覚悟していたので、今回は特に暖かく迎えてくれた気がする。昨年（黒檜山）は寒かった。（*^_^*）当初予定した鈴ヶ岳は変更。途中のアイスバーンで、バスにチェーンを巻くなどしたために少し時間がかかった。結局、鈴ヶ岳へのルート途中の鍬柄山で折り返した。鍬柄山は標高と展望は鈴ヶ岳と同じだ。鈴ヶ岳は1567m、鍬柄山は1562mでほとんど変わらない。曇り空ながら赤城山周囲の山々はもちろん、榛名山、浅間山、武尊山 谷川岳方面などが見えて大満足。今年の締めはいつもの「ふれあい館」で楽しく盛り上がりました。来年も元気で山に行きましょう！ それでは良いお年を！（小松記）